

あらすじ

お前が噂の留学生か…

なにやら前回の模試で全国一位だったらしいが今回は勝たせてもらおう！

やっちゃんささいッ
フータロー♥

こいつらの面倒は俺にしか務まらないんでな！

天才黒人留学生と五つ子の家庭教師の座を賭けて勝負するも惜しくも敗北…

数日後…

いやあさあぶなかったw
さかの1点差とはw

お前が家庭教師をしていなかったら負けてたかもしれねえわ

クソっ…
あと一問解ければッ

それじゃ約束通り五つ子の面倒は俺がみてやるからw

三玖、お前はどうか？

私は……

あなたの
肉体は

リベンジに燃えるフータロー
だったが、その魔の手は既に
二乃と三玖へ伸びていた……

わろっ
わろっ

武将みたいに
鍛えられてて
結構好き……♡

……

上杉は痩せすぎてて
体力もないからな

男としてみれないだろ
頭も俺の方が良いしなw

さあさあ

わろっ
わろっ

わろっ
わろっ

わろっ
わろっ



流石に

あゝ

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡



二人だけじゃ飽きてきたな

あん♡

あん♡



そろそろ次にいくとするか

あん♡

あん♡

あん♡



一花に



四葉に



五月…



あんな♡

ギッ

こころと撞って

パッパッ

あんな♡

ギッパ

パッパッ

ギッ

ほま♡

ほま♡



どいつも
案外ガードが
堅いんだよな

うむ……

ああ♡
あ♡
あ♡



特に一花……

一応家庭教師はさせて
もらえてはいるが……

他の姉妹と違って
全く隙を見せねえ

そのうえ……

無理やり襲って

あっ♡

芸能関係の
トラブルにまで
発展するとまずい

ギッ

あっ♡

はあっ♡

ギッ



はぁッ♡

あッ♡

ああいうお高くとまった女優を喘がせるのが一番気持ち良いんだが…

はぁッ♡

本当ッ…
芸能関係は面倒くさい

あッ♡

ん♡

もみ♡
もみ♡

ぱん♡

ぱん♡



芸能…

いや待てよ…

その手があった！

ギッ

どろゆるるるる♡

どろゆるるる♡

ギッ



それじゃ、
一花ちゃん♡



羽織ってる
もの脱いで

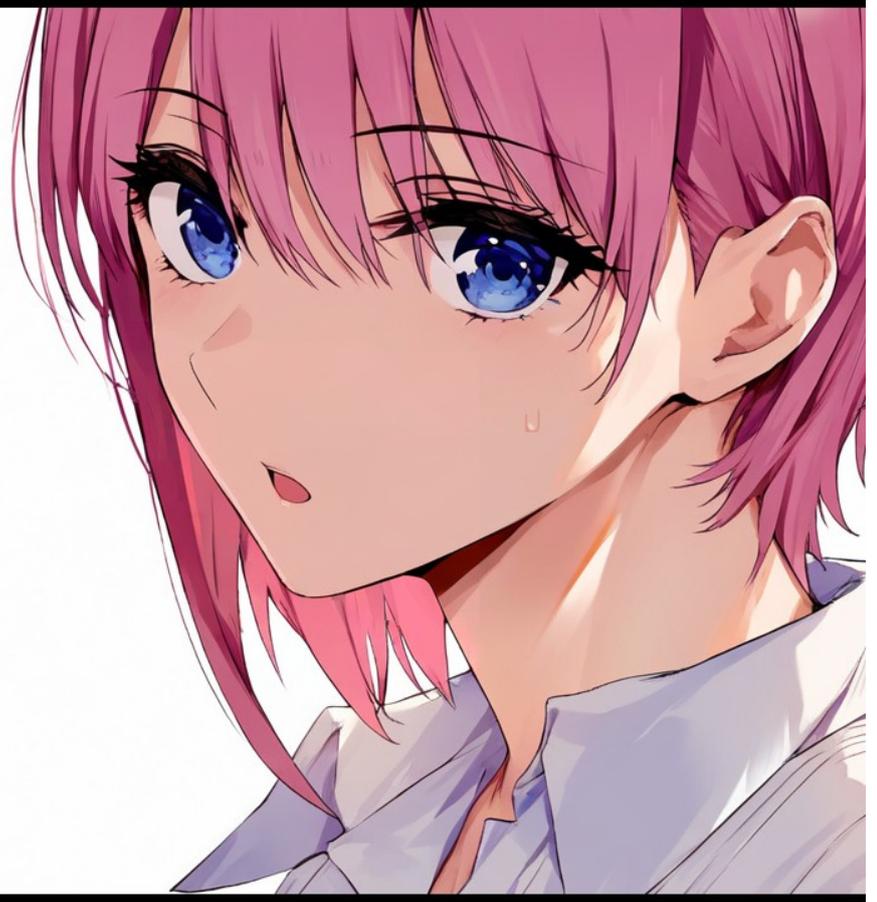
こっちに
来てくれるかな



はい…

本日はよろしく
お願いします…

どうしてこんなことになっただろう…



え……

二乃……

今なんて……



フリータローが
例の勝負で留学生に
負けたって言ったのよ

フ……
フリータロー君が
勉強で……
負けた……!?



そ。だから今度からは
フリータロじゃなく

その転校生が
家庭教師を
やるらしいわ

もともと
高校は諦めて……

そう……
なんだ……

女優活動に専念する
つもりでいた……

家庭教師が新しく
なったからといって
その気持ちは
変わらなかった……

確かに……
すごくわかりやすい

日本語も
ペラペラ……
だけ……

むしろフータロー君との
関係が途切れたことで
気持ちはより強くなって
いた

そんなある日

枕……

営業ですか……？

そういった噂はかねて
から聞いていたし、
ある程度覚悟はしていた

ああ……
お相手は映画界の
超大物だ……

君のことをえらく
気に入ったらしい

断れば私の女優人生が
どうなるのか……

一花くん！
これはかつてない
チャンスだ！

君が大スターになる
ための第一歩だッ！

それが分からないほど
私は馬鹿じゃなかった……

フータロー君に
頼ろうと思ったことも
あったけど……

フータロー君……

何だ……一花？

あのね
わたし……

枕……

彼もただの一般人……

ん……？

膝枕……

下手したら
彼の家族にだって
危害が及ぶかもしれない

膝枕してほしく
なったらお姉さんに
いつでも言うんだぞ♡

芸能界の暗い部分に
彼を巻き込むべきじゃない



こちらでよろしい
でしょうか……？

二コマ
徳川さん♡

すばらしいよ♡

一花くん♡



ほら遠慮せず

もっとこっちに
きなさい……♡

ピンクの文字

いぢゅわ



これはこれは……
すばらしい
揉みごたえだ♡

大丈夫……

ちみ♡ ちみ♡



大丈夫……

これくらい……

ありがとうございます
ございます♡



わたしはこれまでに
数々の名女優を
抱いてきたが……

はっ！

ここまで大きくて
ハリのある胸は
初めてだよ……♡

はっ！

はっ！



しかも甘いっ♡
甘い匂いが
たまらんッ……♡

はーい

はーい

もうっ……！
監督ったら♡

れい

あ♡



これだ……
これだよ♡

あ♡

べろ

べろ

もみ

もみ

ん♡

ん♡

ん♡

現役JK女優の
柔肌……♡

もみ

ああ……
最高の味に最高の匂い♡
やはり君は逸材だ……♡

これは下の具合も
期待が出来る……♡

おや……？

んっ♡

ワキゅワキゅ♡

んっ♡

ちみ♡

ちみ♡

これはもしや……
君は処女なのかね？

あっ♡

ワキゅワキゅ♡

は……はい

ワキゅワキゅ♡

んっ♡

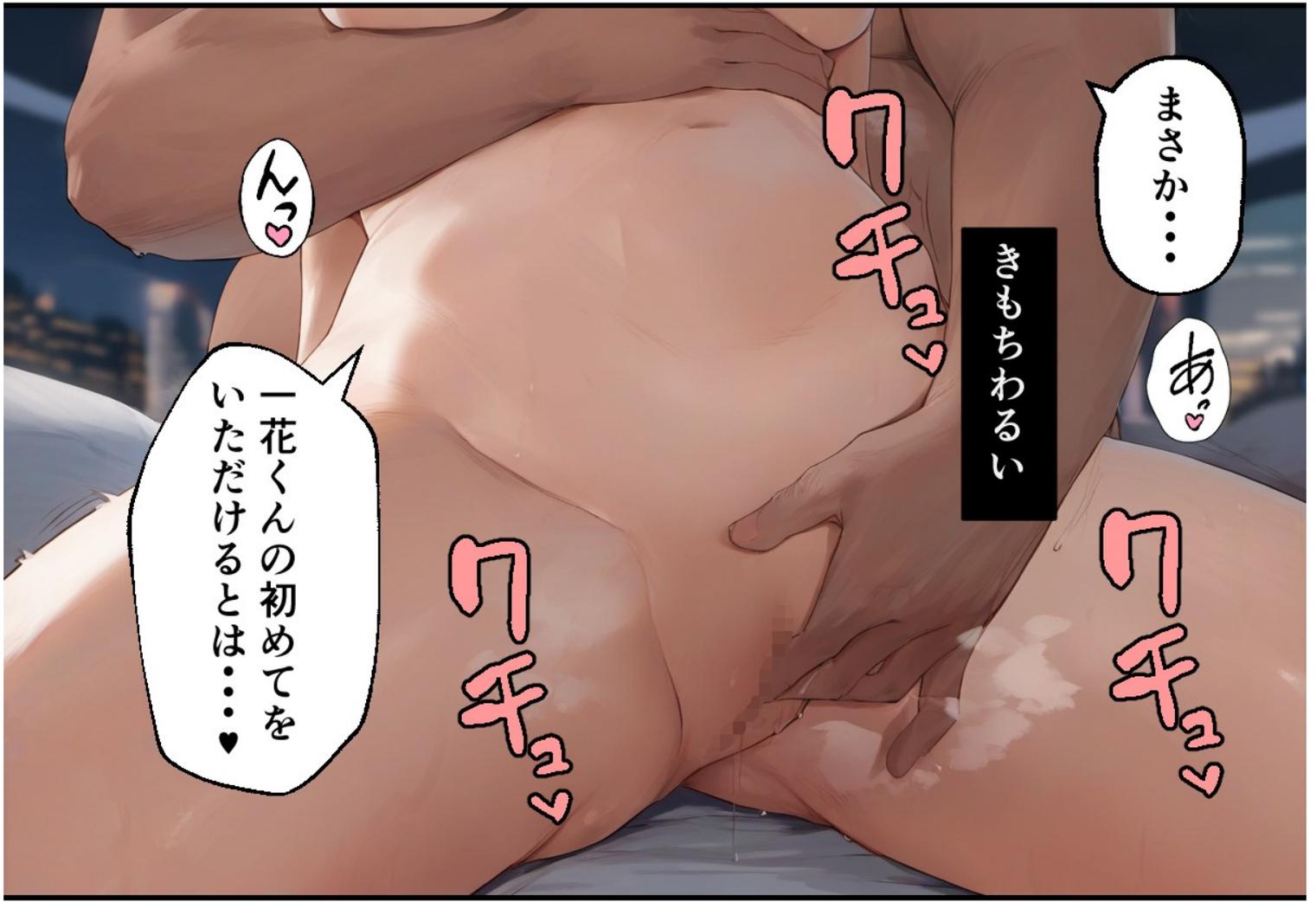
なんとッ！



くろく

これは…これは
なんとという僥倖♥

きたない



まさか…

あ♥

きもちわるい

ん♥
一花くんの初めてを
いただけるとは…♥

クチュ

クチュ



おちつけ…
わたし…

念入りに
ほぐして
おかなければ♥

ちよつと我慢
するだけ…

クチュ

クチュ

んっ♡

グロ♡

グロ♡

んっ♡

グロ♡

グロ♡

無理ッ…

大丈夫…

クハッ♡

あ♡

大丈夫…

キモい…

こんなのドラマの練習だと思えば…

気持ち悪いッ

あ♡

んっ♡

だめッ…

こんなのッ気持ち良くなんかッ



クチュ

クチュ

あ♡

あ♡

あ♡

ゴクッ

ゴクッ

あ♡

ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ

ゴクッ
ゴクッ
ゴクッ



ふおっふおっ♡
まさか潮を噴くとは♡

だめっ…

ハロキ

そんなに私の
手マンが
良かったかね？

力が抜けてッ…



誰かッ…

一花君…♡
君は最高の
女優だよ♡

はぁ…♡

ビク

誰か助けてッ…

はぁ…♡

ゼク

はぁ…♡

もう…
我慢…

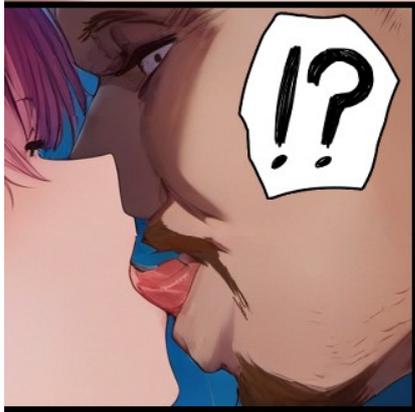
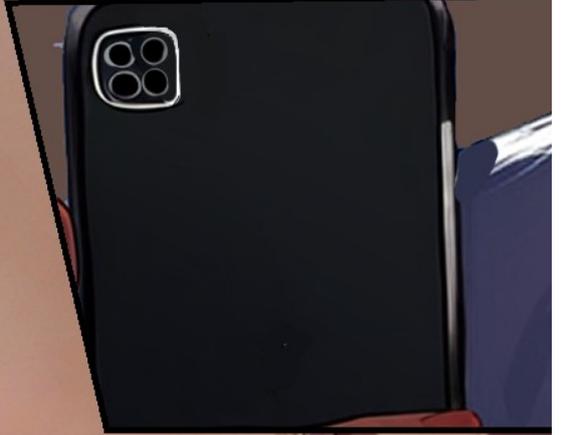
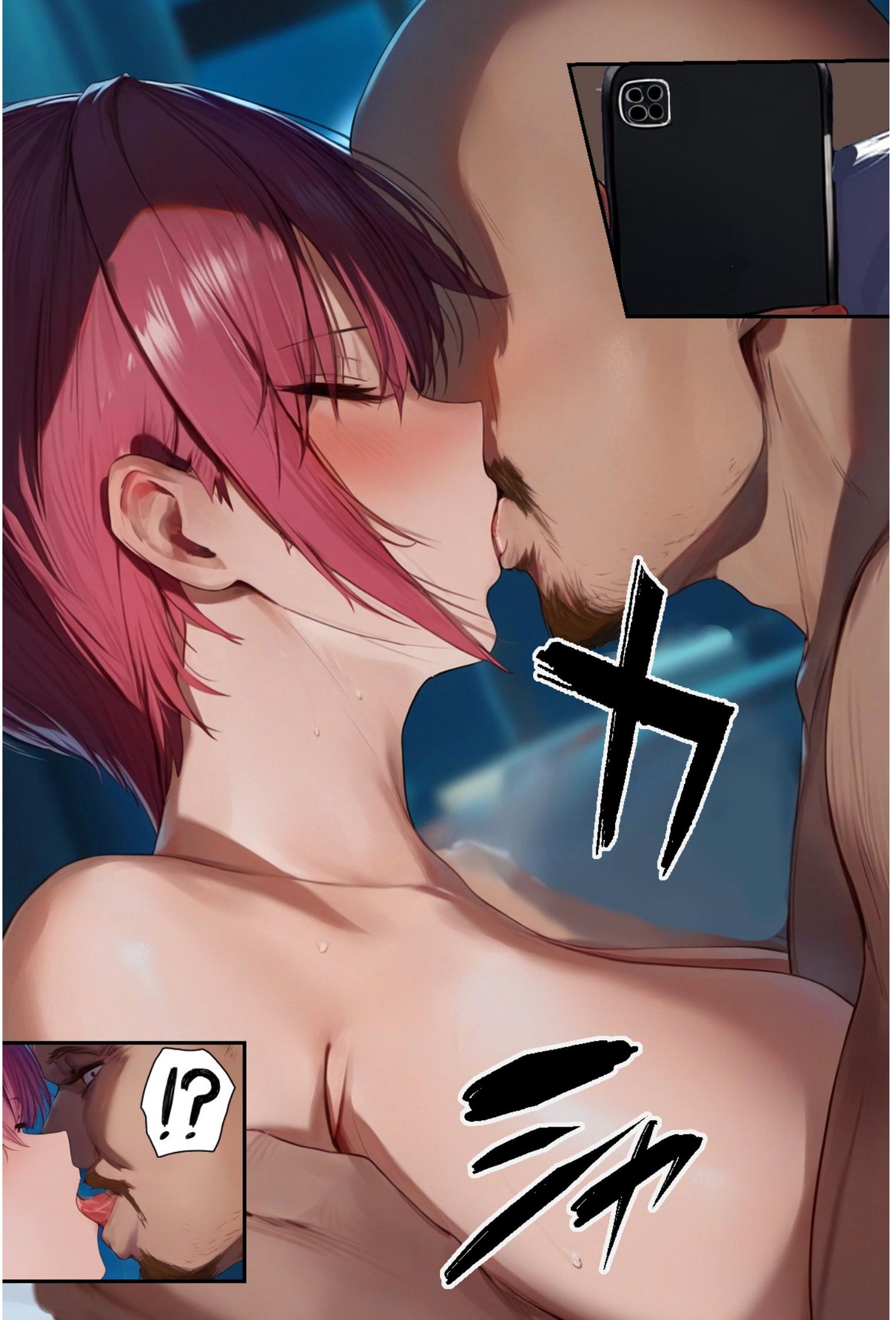
ゼク

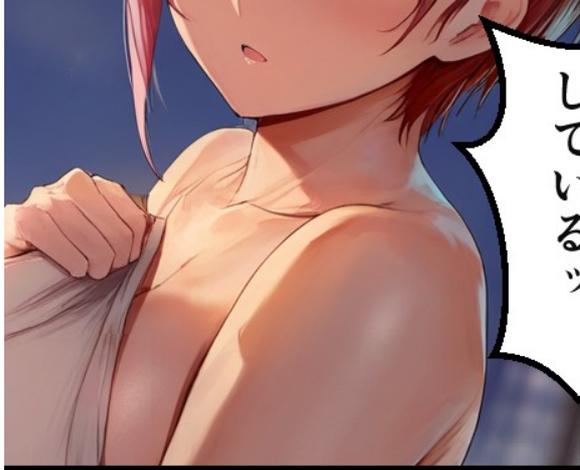


ガッ



もう我慢
できんわいッ♡





見張りは何を
しているッ

だれだ貴様ッ



現役女子校生
女優と枕営業…

お前の人生…
完全に終わりだな



誰も通すなと
言っただけだろッ



おいおい

大事なことが
抜けてるぜ



そッそれがその方は
あのハリウッド映画
監督のご息らしくッ…

なにッ!?



今の俺は
一花の...

専属家庭教師だぜ

捕まりたく
なかつたら
とっとうせな



悪い...
一花...
遅くなつて...

どうしよう...

大丈夫か?

うん...

こんな漫画みたいにして...
助けてくれるなんて...

私の中のセンサーが
反応しまくりだよ……

こんなには……
感じたのは……

フータロー君の
あの時以来……

ううん……
それ以上かも……



ねえ……



たった今
助けられた君に……
お願いするのもあれ
なんだけど……



私のこと……



抱いて……
くれないかな



イチカ...



忘れたいの...

今日のこと...



一花くんを
抱けなかった
のは惜しいが...

日本人は抱き飽きて
おったところじゃ...

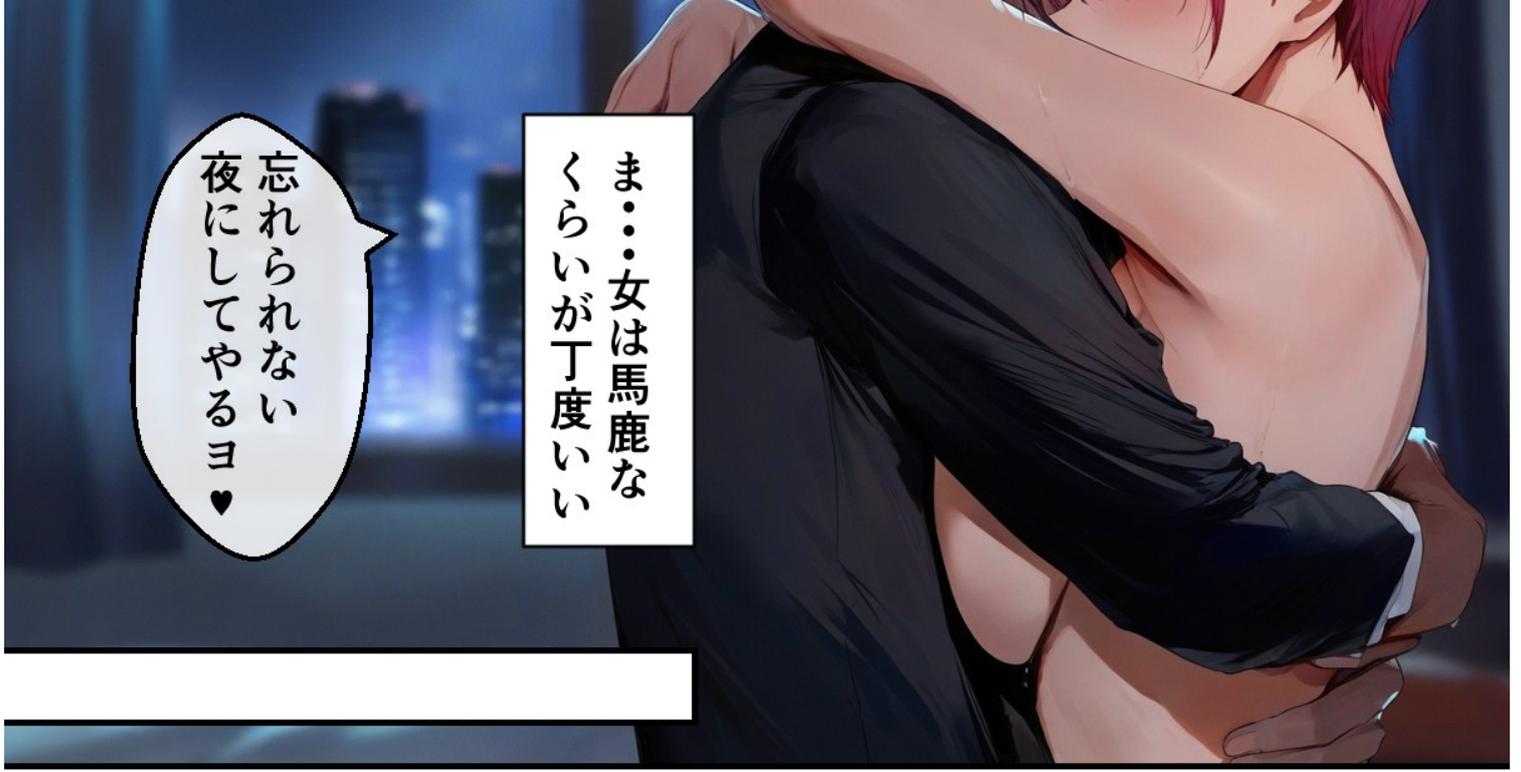
その分、あやつの用意した
ブロンド美女を堪能
させてもらうわい...♥



全て俺が
仕組んだこと
だとも知らずに...

ほんと...
馬鹿な女だぜ

完全にメスの顔を
してやがるw



ま…女は馬鹿な
くらいが丁度いい

忘れられない
夜にしてやるヨ♡



はあ…♡

一花…

はあ…♡

俺のはデカイ
から覚悟しろよ

♡



あ♡

ズ
ン
ッ

ん♡

はあ♡

はあ♡



はあ♡

はあ♡

ちよつとキツイが
このまま奥まで
挿入るぞッ……♡

ギッ

はあ♡



大丈夫だから
……来て♡

うん……♡



すごく…
大きい…♡

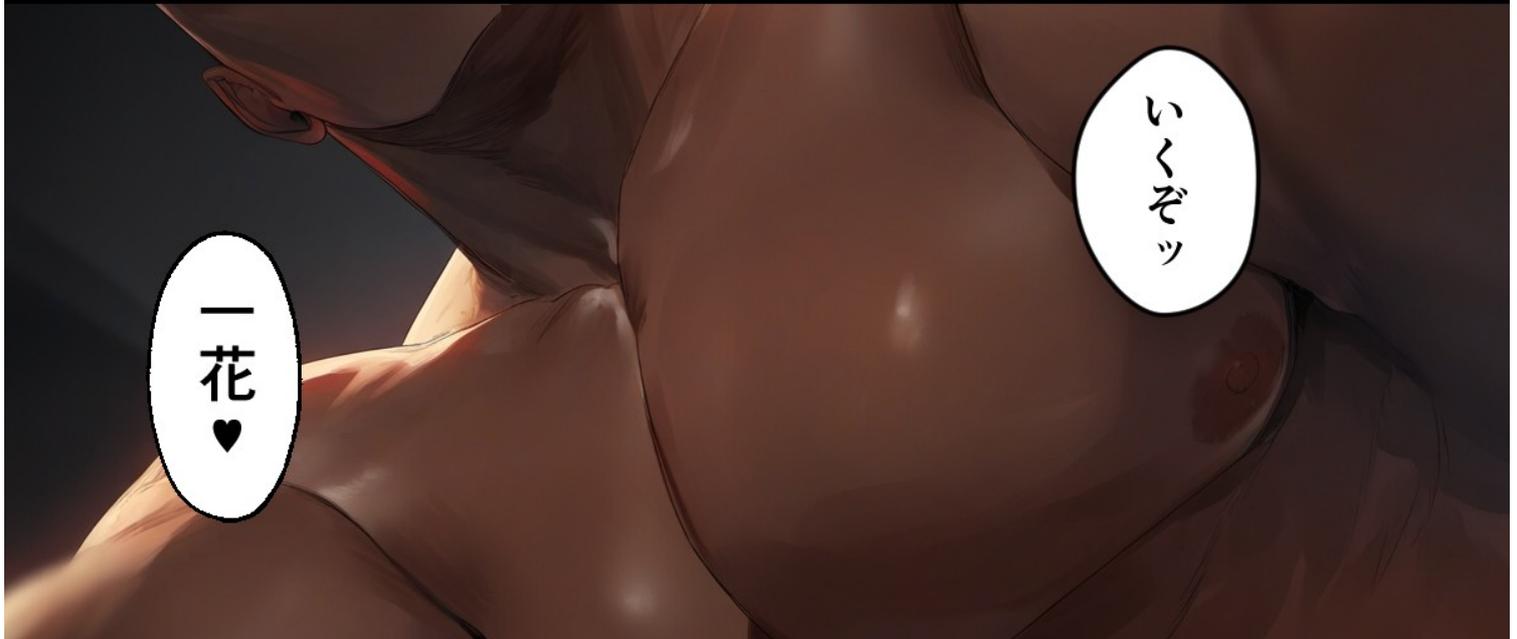
はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡

はぁ…♡

本当に今からこれが
私の一番奥に入るんだ…



いくぞッ

一花♡

どうして…
私はあの時…

最後まで
挿入ったな♡

やっぱり日本人の
女はアソコが
狭くて最高だぜ♡

はあ…♡

はあ…♡

お♡
きっ♡

フリータロー君に
相談しなかったん
だろう…??

はあ…♡

それじゃ
動くぜ…一花♡

ううん…

おはよう

あ♡

ギッ

本当は分かってる

「フリータロー君の
家族に迷惑をかけるかも」
なんていうのは…

ただの言い訳…

私はただ…

リベンジするため
勉強する彼を見て

こう思ったんだ…



「なんか…」

んっ♡

ギッ

あっ♡

あっ♡

「頼りなさそう」って…

あっ♡

ギッ



多分…

はあっ♡

んっ♡

はあっ♡

無意識のうちに…

あっ♡

んっ♡

んっ♡



比べちゃったんだと思う……

はあ……♡

はあ……♡



この人と……

しびる

あ……♡



フータロー君を……

あ……♡

あ……♡

あ……♡

ギッ

ギッ

ギッ

ギッ

ギッ

「どっちが
頼りになる……」

あぁ♡

ズッ
ズッ

あ♡

ズッ
ズッ

あ♡

ズッ
ズッ

でも……
仕方ないよね……

あ♡

「強くて優秀な
オスなのか」を……♡

あ♡

彼と比べたら

あ♡

ズッ
ズッ

身体の
大きさも……

あ♡

チンポも……

はぁ♡♡

財力も……

はぁ♡♡

脳みそも……



フータロー君は全然
足りてないって……

はぁ♡

ギッ

はぁ♡

ギッ

気づいちゃったから♡

はぁ♡

ギッ

はぁ♡



ごめんね……
フータロー君……

わたし……ね

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ギッ

ギッ



最初は舌で
丁寧舐めるんだ

はあ…♡

これが…
強い雄の匂い

はあ…♡

はあ…♡

お♡いいぞ♡

ぬる

ぬる

しゅわん



流石一花♡
呑み込みが早いな

はあ…♡

はあ…♡

はあ…♡

はあ…♡

褒められるの
うれしい…♡

しゅわん



はぁ…♡

そうだ♡
裏筋を舐めるのを
忘れるな♡

はぁ…♡

れろ

はぁ…♡

れろ

ここが敏感…
なんだよね

はぁ…♡

自分の唾で滑りを
よくするんだ

はぁ…♡



こんな必死に
しゃぶりついて…

はぁッ♡

ほんと…
馬鹿な女だぜ

はぁッ♡

はぁ…♡

はぁ…♡

しゃぶる♡

れろ

れろ

上手いぞ
一花♡

はあ♡

口の中で唾を貯めて
音を立てながら
しゃぶるんだ

ぢゅるる♡

はあ♡

はあ♡

ここで奥まで
啜える……ッ

ぢゅるる♡

はあ♡

はあ♡

……ッ
やつぱり……
すごく大きいっ

はあ♡

ぢゅるる♡

はあ♡

ぢゅるる♡

ぢゅるる♡

はあ♡

だめっ
大きすぎてッ

どうした？
一花？

んっ♡

ちやんと最後まで
啜えないと駄目だぞ

んっ♡

奥まで
啜えきれないッ

んっ♡

んっ♡

んっ♡



射精とともに熱くて
どろどろしたものが
私の口内をうめつくした……

フニョフニョ

フニョフニョ

ザクザク……
ザクザク……

彼は私の頭に手を置き、
私が精子を飲み込むのを
期待しているようだった

苦く喉奥に絡みつく
精子を飲むと……

んっ♡

がっ♡
ちゅる♡

がっ♡
ちゅる♡

んっ♡

偉いぞ一花♡

そうそう喉奥で
全部受け止める

がっ♡
ちゅる♡

彼は褒めながら
私の頭を撫でた

これが……

最後の一滴まで
しっかり吸えよ

本当に強い雄の
遺伝子の味……♡

んっ♡

ぢゅるるっ♡
ぢゅるるっ♡

私は彼の
命令通りに

尿道に残った精液
を啜り上げた……

ぢゅるるっ♡
ぢゅるるっ♡

そしてわたしは
舌の上に残った...

はあ...♡

はあ...♡

はあ...♡

はあ...♡

彼の熱くて濃厚な
子種汁を見せつけて

まるで忠誠を
誓うかのように……

ん♡

ん♡

彼を見つめながら……

ゆっくりと丁寧に味わい……

すべてを飲み込んだ……

私の態度に
興奮したのか

射精直後にも
関わらず……

彼の陰茎は雄々しさを
すぐさま取り戻し……

はぁッ♡

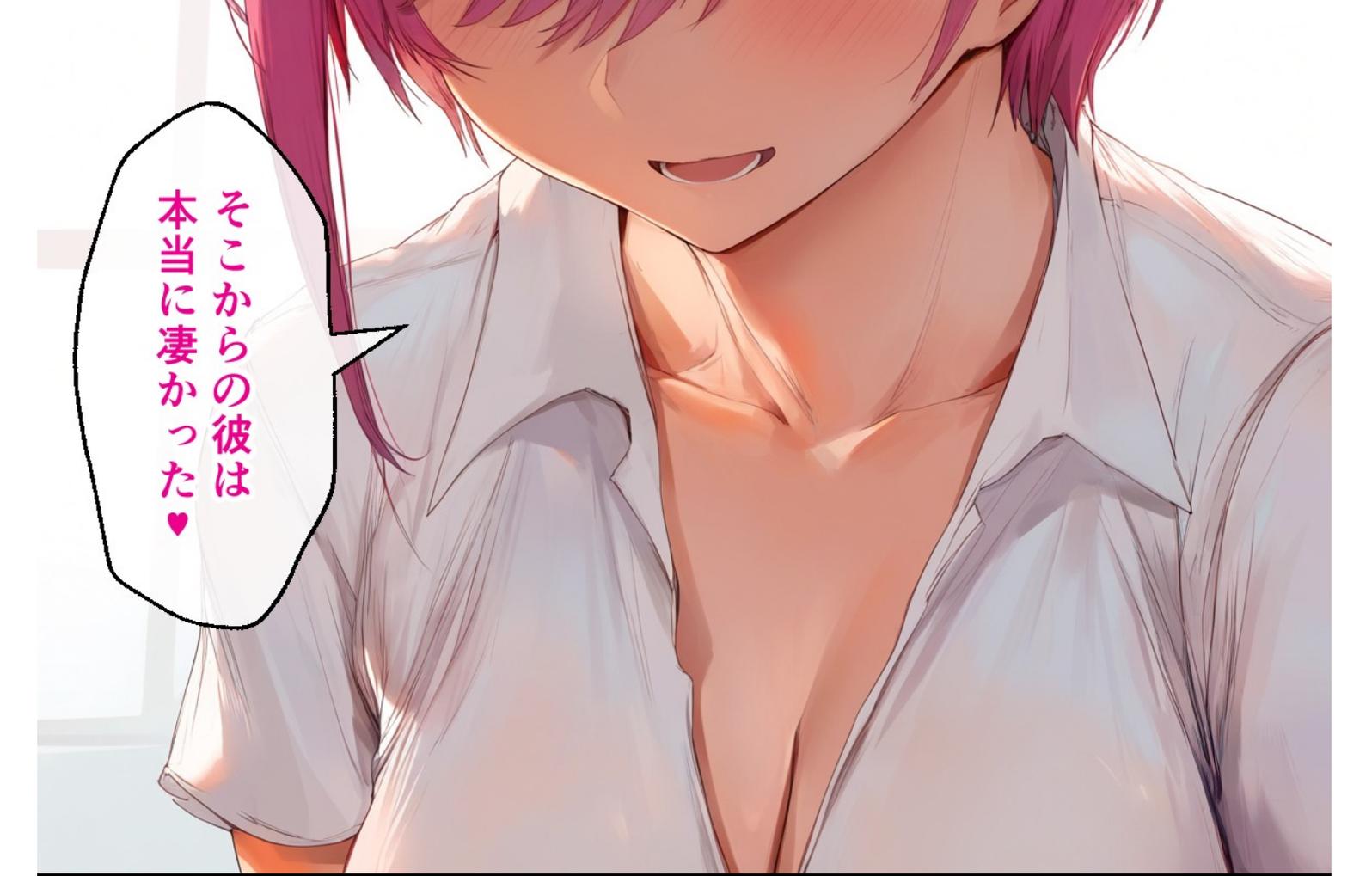
♡ギョッ♡

私を犯す準備を整えた

はぁッ♡

はぁッ♡

♡ギョッ♡



そこからの彼は
本当に凄かった♡



どうやら……
理性のリミッターが
外れたみたいで……

ゴムもつけずに
私の女優おまんこを……

あっ♡

だめえ
だめッ……♡

あっ♡

あんっ♡

もうイッてるッ
もうイッてるからあ

一切の容赦なくガン突き
ピストンしてきたの……♡

んっ♡

んっ♡

私もはじめは抵抗
しようとしたんだけど...

はぁッ♡

はぁッ♡

はぁッ♡

私ッ...
女優なのにッ

こんなところ誰かに
見られたらッ

あッ♡

はぁッ♡

ムニムニ♡

ムニムニ♡

あッ♡

流石に断らないとッ

無理やり窓に
押し付けられて...

あッ♡



あんっ♡

思いっきり突かれると

あっ♡

だめっ♡

あっ♡

だめっ♡

だめえっ♡

気持ち良さで理性が
飛んでっちゃうの……♡





あ♡

あ♡

あ♡

嘘ッ♡♡♡♡♡

ゴッゴッ

射精しても
お構いなしで

膣内射精
されてる♡

獣みたいに腰を
振ってくるから

あん♡

パッ

パッ

逃げようにも逃げられなくて

はぁッ♡

ビクッ♡

ビクッ♡

はぁッ♡

ドドド♡

ドドド♡

おっ♡

おっ♡

ビクッ♡

おっ♡



わずかに残ってた理性も……

あぁ♡♡

あゝ♡

あゝ♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡

ズン♡

あゝ♡

ズン♡
ズン♡
ズン♡

愛液や精液と一緒に
どろどろに溶けていって

おい一花♥
こっち向いて舌出せ

はい♥
先生♥

んん♥

ん♥

モッ

モッ

モッ

モッ

はあ♥
はあ♥
はあ♥

んっ♡

んっ♡
んっ♡

いつの間にか……

んっ♡

んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡

あっ♡

気持ち良くなることしか
考えられなくなってた……♡

あっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡

んっ♡
んっ♡
んっ♡